

# 肝臓がんレジメン一覧

2024年9月更新

## レジメン名

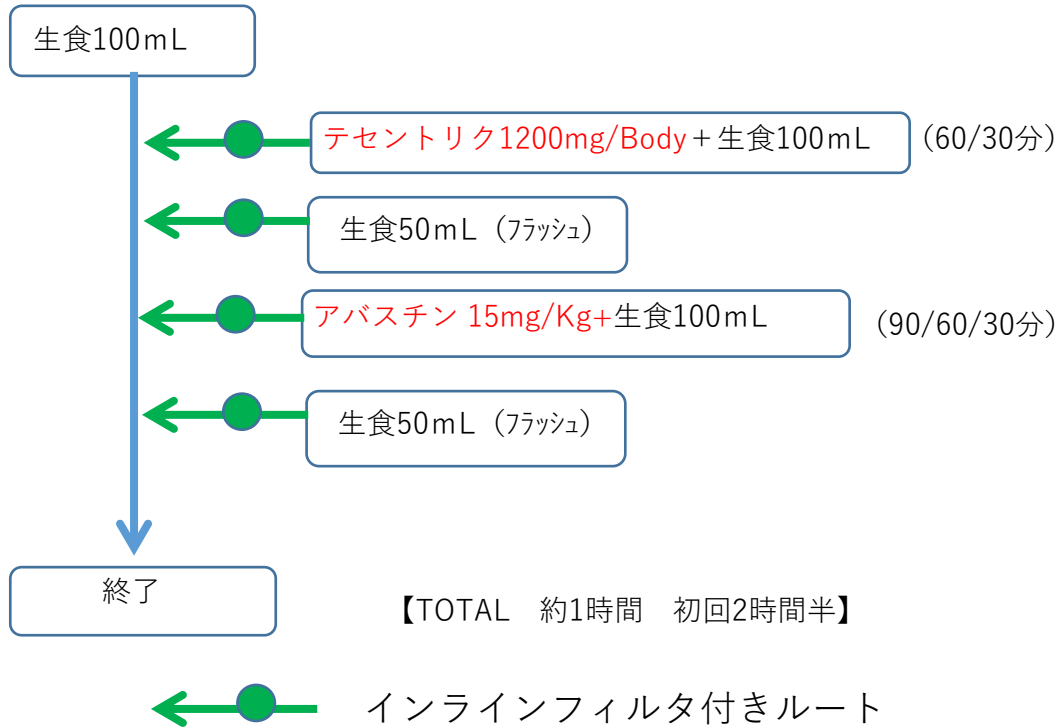
[BEV + Atezolizumab](#)

[Durvalumab + Tremelimumab](#)

[Durvalumab](#)

# BEV + Atezolizumab (肝臓がん)

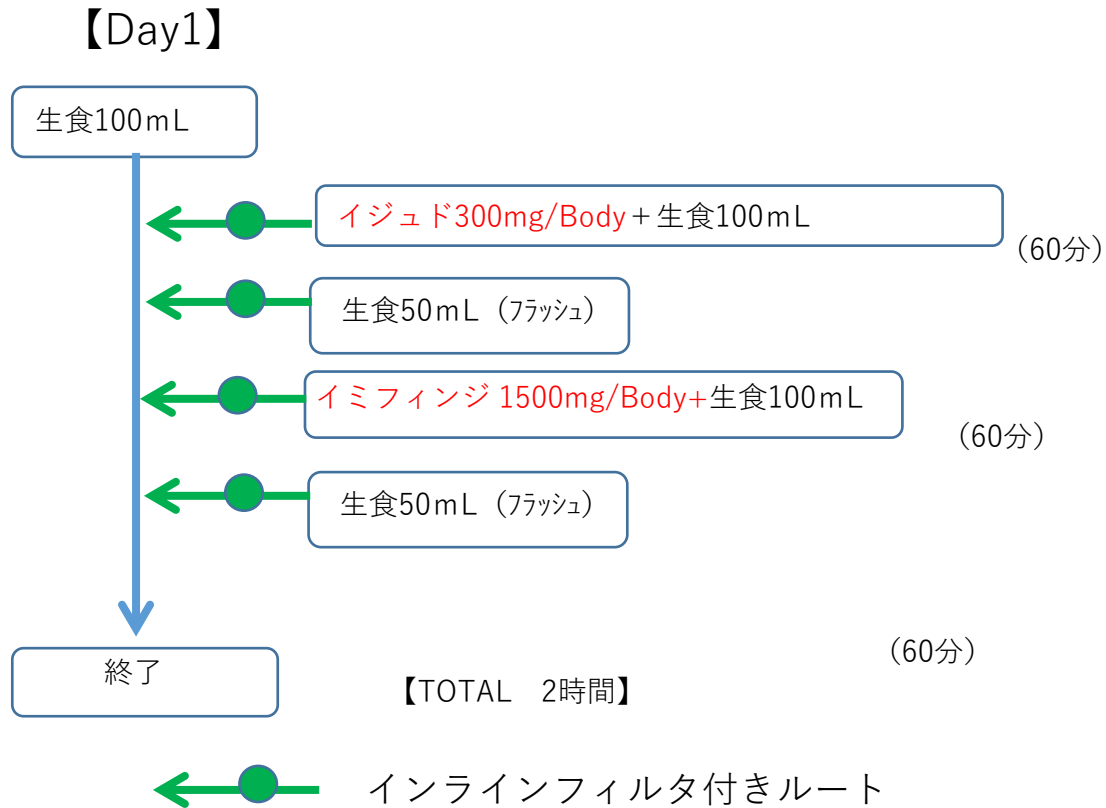
## 【Day1】



薬剤	Day	1コース			2コース
		1			22
Atezolizumab (テセントリク)	1200mg/Body	●			●
BEV (アバスチン)	15mg/Kg	●			●

- ・ 1 コース3週おき
- ・ 軽度催吐レジメン (BEV: 最小、Atezo: 軽度)
- ・ 血管外漏出 (BEV: 非壊死性、Atezo: 非壊死性)
- ・ インラインフィルタ付きルートを使用
- ・ アバスチンは初回90分、2回目60分、3回目以降は30分まで短縮可能
- ・ アバスチンによる高血圧・蛋白尿・創傷治癒遅延・消化管穿孔  
血栓症、うっ血性心不全など血管新生阻害薬特有の有害事象に注意
- ・ テセントリクは初回60分かけて投与し、問題がなければ30分に短縮可能
- ・ 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) であり、PD-L1を阻害する
- ・ 免疫関連有害事象 (irAE) に注意する。

# Durvalumab + Tremelimumab



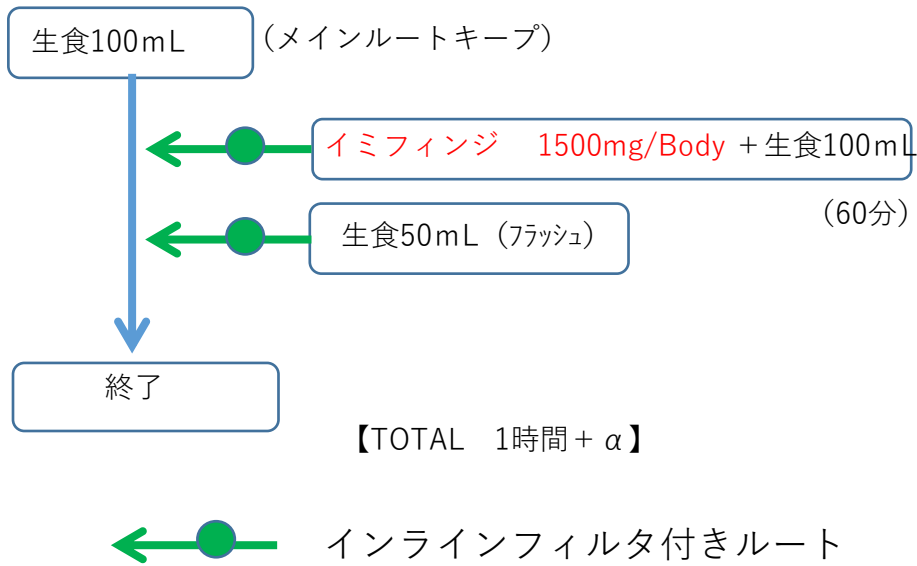
薬剤	投与量	1コース	2コース	3コース	4コース
		4週間	4週間	4週間	4週間
Tremelimumab (イジユド)	300mg/Body	● ← 初回 1 回のみ			
Durvalumab (イミフィンジ)	1500mg/Body	●	●	●	●

イミフィンジの繰り返しのみ

- 1 コース4週おき
- 軽度催吐レジメン (Tremelimumab : 最小、Durvalmab:軽度)
- 血管外漏出 ( Tremelimumab : 非壊死性、 Durvalmab :非壊死性)
- インラインフィルタ付きルートを使用
- イミフィンジはPD-L1を阻害する免疫チェックポイント阻害剤 ( I C I ) である・イジユドはCTLA-4 を標的とする免疫チェックポイント阻害剤 ( I C I )
- 免疫関連有害事象 (irAE) に注意する。

# Durvalumab

## 【Day1】



薬剤	Day	1コース			2コース
		1			29
Durvalumab (イミフィンジ)	1500mg/Body * 30Kg以下は 20mg/Kg	●			●

4週おき

- 1コース4週おき
- 最小催吐レジメン
- 体重が30kg以下の場合20mg/Kgとなるので注意
- インラインフィルタ付きルートを使用
- 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) であり、PD-L1を阻害する
- 免疫関連有害事象 (irAE) に注意する。